

東京都檜原都民の森管理運営に関する事業計画の概要

(令和6年度～令和10年度)

檜原都民の森は、平成2年5月の開園以来、檜原村が東京都より委託され管理運営を行ってまいりました。今後令和6年度から令和10年度の5ヵ年につきましても、管理運營業務を効果的かつ効率的に行うため、今まで培ってきた経験やノウハウを活かしながら、この施設及び恵まれた環境を東京都の宝として守り、創意工夫のある企画や運営体制を堅持しながら、限られた予算の中で最大の事業効果が得られるように計画的に事業の展開を図ります。

また、多様な発想のもとで管理運営に取り組み、来園者へ野外レクリエーションの場として、より質の高いサービスを提供していくと共に、開園より来園者数800万人を目指し、職員一丸となって集客力の向上に努めてまいります。

檜原都民の森が、来園者にとってより利用度の高い施設として活用していただくために、登山、自然観察、木工教室、環境教育の発信基地の中心として情報発信に取り組んでまいります。

1) 来園者ニーズの把握への取組について

幅広く来園者の意見を集め、改善提案・苦情等の声を真摯に受け止め、職員全員で共有して早急に適切に対応するよう心がけていきます。

2) 質の高いサービス提供への取組について

自然教室、木工教室、記念日イベント、特別イベント、合同イベント等については魅力ある教室等を企画し、実施してまいります。また、檜原村観光協会、数馬地区の観光事業者及び関連施設とも連携を図り、教室及びイベント等の事業を年間100回程度開催します。平成19年3月に「森林セラピーロード」として認定されて「大滝の路」は、檜原村及び檜原村観光協会、その他団体へも働きかけ、更なる活用方法を検討します。

檜原都民の森を知り尽くした野外指導員による動植物の解説、自然ガイド等の充実したサービスの提供を行います。更に近年、自然環境保全や環境学習への関心が高まっているなか、校外学習や課外授業の講師として希望する団体には、野外利用指導員の随行や派遣を行います。

日常的な館内の清掃を檜原村シルバー人材センターへ委託し、常に利用者へ清潔感を与えるよう心がけます。

来園者のアクセス向上のため、民間バス等を借り上げてバス路線終点からの無料送迎を継続して実施してまいります。

また、希望者を対象とした駐車場から森林館までの間の送迎及び駐車場満車時における臨時駐車場から駐車場までの送迎についても、来園者の利便性と集客率の向上を図るために、実施してまいります。

3) 来園者の安全対策及び事故発生時等の対応について

年間20万人近い来園者の安全対策として、檜原都民の森は197haの広大な面積を有し、山岳公園のため、遊歩道・登山道等での事故を未然に防ぐための安全管理点検及び整備を定期的に行い、事故発生時等が発生した場合には、警察・消防と連携を取り迅速に対応するように取り組んでまいります。

来園者が安心してご来園・ご利用いただけるように努めます。

4) 環境への配慮

電気自動車2台を送迎用車輜として使用するなど環境に配慮した運営を行います。園内で使う電気は、公益財団法人 東京都環境公社から購入する再生可能エネルギー由来の電気を継続して使用していきます。シカの食害による植物・樹木の保護の為、シカ防護柵の設置を設置していきます。

5) 施設の広報等に関する取組について

PRの媒体としての大きな影響のあるテレビ・新聞等のマスコミ関係については積極的に受け入れ、取材協力をしていきます。また、ホームページ、SNSを活用して、檜原都民の森の四季折々の最新情報等を発信し、来園者の増加に繋げていきます。

パンフレット類の配布についても、なるべく多くの人に御覧いただき、来園していただけるよう東京観光情報センター、大多摩観光連盟の案内所や温泉施設、登山用品等を扱うショップなどにも置かせていただくよう依頼してまいります。

今後も檜原村と連携を図り、村が主催するイベント、都内において檜原村が共催等で開催されるイベントで、ガイドマップ、イベントパンフレット等を配布し、より多くの方に檜原都民の森を知っていただくようPR活動に務め、来園者の増加を図ります。

6) ボランティア教育について

新しいボランティアの募集を含め、研修を開催しながら実践の場を与え、より一層のボランティアの育成を図り、檜原都民の森の魅力を伝えていただけるように研修会を開催していきます。

7) 伝統技術の継承及び人材育成について

特別イベントとして炭焼き体験教室を開催し、講師については地元で技術を持っている人を講師として招き伝統技術の継承及び人材育成に努めてまいります。

この様に、多くの来園者が檜原都民の森の自然に癒され、憩いの場所、学びの場所として利用できるよう様々な事業を実施いたします。